

【低体温】

●患者役:

★家族(娘):

■その他:

覚知日時	令和6年3月1日(金) 8時00分
現場到着	令和6年3月1日(金) 8時05分
想定内容	橋本病(甲状腺機能低下症)、II型糖尿病が基礎疾患としてある48歳の女性。朝いつも通り起床しないため娘が起こしに行くと呼びかけ反応がなかったため救急要請。PAC若しくは到着後に家族から「2週間前から易疲労感や顔面や下腿の浮腫が著名となり、手足の冷えを訴えていた。昨日は特に寒気や眠気を訴えていた」と聴取できる。当日の外気温は10°Cでエアコンはついていない。傷病者はベッド上の布団の中にいる。
指令内容	48歳女性、自宅のベッド上で呼びかけに全く反応がないもの。呼吸あるとの通報内容。最終健常は昨日の22時。既往歴は糖尿病、甲状腺疾患。
状況評価	ベッド上に仰臥位。
初期評価	気道 : 開通 呼吸 : 正常(16回/分) 脈拍 : 弱く遅い(50回/分程度) 外出血 : なし 皮膚 : 乾燥、冷感、浮腫 意識レベル : JCSⅢ桁 皮膚所見 : 手足の冷感が著名。頸部及び胸部に至るまで冷たい(体幹部まで観察した場合神の声で)
現場バイタル	意識レベル : JCSⅢ-100A 呼吸 : 16回/分 脈拍 : 50回/分 血圧 : 95/45mmHg 体温 : 28.0°C SpO2 : 測定不能(酸素10L投与で90%) ECG : J波
車内バイタル	意識レベル : JCSⅢ-300 呼吸 : 0回/分 脈拍 : 0回/分 血圧 : 体温 : 28.0°C SpO2 : ECG : VF 安静搬送、保温などができないとC PA(VF)に容態変化。安静搬送を心掛けても車内収容後VFに以降する。
患者情報 GUMBA/SAMPLE	2週間前から易疲労感や顔面や下腿のむくみがひどくなってきて、手足がよく冷えると訴えていました。昨日は特に寒気や眠気を訴えていた。最近では食欲もあまり無かったみたいです。治療中の病気は5年くらい前から甲状腺と糖尿病の治療をしています。詳しいことはすみません、よく分かりません。 S : 低体温、意識障害 A : なし M : チラージン(橋本病・甲状腺機能低下症)、アクトス(糖尿病薬) P : 糖尿病、橋本病 L : 20時 E : 朝起床してこないため娘が起こしに行くと呼びかけ反応がなかった。

※想定としては、甲状腺機能低下症のため熱産生が減少し、低体温症となったものです。
あえて寒冷環境にしてしていません。